

春日部市立内牧小学校



食育体験



第6学年

特色

- 魚の栄養について知り、魚を進んで食べようとする態度を育てることが出来る。
- 本校の食育の一環として、6年生がプロの魚屋さんと一緒に魚の解体作業を行うことで、生産者をはじめ多くの人々の苦勞や努力で食生活が支えられていることを知る。

児童の感想

- ぶりの解体作業を見学して、立派なぶりを手際よくさばっていて、すごい！と思いました。
- 豆あじをさばくときに、「ゴリッ」という音がして、すごかったです。
- 普段は、魚の切り身を何気なく食べていたけれど、今回の魚をさばく体験は、とても楽しかったし美味しく食べられました。

成果

- 普段何気なく食べている魚が、どのように解体されているのかを目の当たりにすることで、食べ物のありがたさを知る貴重な経験が出来た。
- 自分達でも豆あじを三枚におろして、それをその日の給食で食べることで、動植物の命をいただいて、生きていることを実感する機会となった。